扒口甘	<u>.产工术(6)</u> 礎情報	等専門学	校開講年	度 平成30年度	(2010+/2)	授業	, i i — i	計算工学((1337437
科目番号		0076			科目区分	-	588 / .V.//s	<u> </u>	
2000年 1000年		0076 ^按	授業				専門 / 必修		
							学修単位: 2		
開設学科	<u> </u>	環境都市工学科 前期			対象学年		2		
開設期	/L .1.1	11.17.71	四亜主体 シュー	週時間数					
教科書/教			•	四开信介	信介 森北出版 2008年				
担当教員		石井 建	刨						
また、コ つつ理解	デル化から ンピュータ する。	導かれる演 シミュレー	算を理解し、境界 ションに利用され	R値問題を解くための Lる演算を理解し実践	マトリクス解法をして、その意義と	計算できる 問題点を実	践的な課題	風にグループ	で取り組む中で討議し
<u>ルーブ</u>	リック							1	
			理想的な到過	達レベルの目安	標準的な到達し	ノベルの目	ਵੋਂ	未到達レベ	ルの目安
現象のモデル化から導かれる演算				現象をモデル化してその演算を解 現象のモデル化して、その基礎 くことができる		D基礎と	現象をモデ	ル化できない	
境界値問題の解法				ミる を具体的に解くことか			 ごきる	境界値問題	
コンピュータシミュレーション			コンピューク	タシミュレーションに 寅算を理解して実践て	- - - コンピュータシミュレーションに 利用される演算を理解できる			コンピュー 利用される	タシミュレーション!i 演算を理解できない
コンピュータシミュレーションの 実践とその問題点			・・・ 実際の問題(コンピー カンフート ションキ			ンミュレーションを		タシミュレーションを い
学科の	到達目標	項目との	要係 関係						
	B-1 JABEE								
	<u>/4</u>	ار ۱ ا	フェースション・_	ションにおいて必要	不可欠かエデルル:	を押解して	その演習	な字図に紹.	
既要		コノ 課題に	ューランミュレー 取り組む中でコン	アコンにのいて心安・	ションを利用して、	これがして	生と問題に	その大阪に胜る	く。そして、実践的な 。
授業の進	め方・方法	・課題! ・補助! (1)宮 (2)A	実施のために、事 教科書として,次 『本裕ほか著『構〕 . First Course in	か時間の予習・復習を 前調査、課題達成に なの書籍を挙げておく。 造工学 第3版』技報堂 Finite Elements, J.	向けた進備などをI	自主学習に して学習の :schko(訳4	设立てるこ 助けとする ∵有限要素	こと。 3こと。 琴法,山 田貴博	尊監訳,永井学士,松井
授業の進 注意点	め方・方法	・課題: ・補助: (1)宮 (2)A 己訳)他	実施のために、事 教科書として,次 『本裕ほか著『構》 . First Course in]	前調査、課題達成に の書籍を挙げておく 造工学 第3版』技報堂 Finite Elements, J.	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の! :schko(訳オ	助けとする :有限要素	ること。 長法,山 田貴博	專監訳,永井学士,松井 し、数学的な表現に慣
主意点		・課題: ・補助: (1)宮 (2)A 己訳)他	実施のために、事 教科書として,次 S本裕ほか著『構』 First Course in 3 でに学習した多く	前調査、課題達成に の書籍を挙げておく 造工学 第3版』技報堂 Finite Elements, J.	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の! :schko(訳オ	助けとする :有限要素	ること。 長法,山 田貴博	
主意点		・課題: ・補助: (1)宮 (2)A 己訳)他	実施のために、事 教科書として,次 S本裕ほか著『構』 First Course in 3 でに学習した多く	前調査、課題達成に の書籍を挙げておく 造工学 第3版』技報堂 Finite Elements, J.	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の :schko(訳本 や行列計算	助けとする :有限要素	ること。 長法,山 田貴博	
主意点		・課題 ・補助 (1)を (2)A 己訳)他 これまれてお 週	実施のために、事 教科書として,次 教科書として,次 所 所 所 でに学習した多く くこと。 授業内容	前調査、課題達成に の書籍を挙げておく き工学第3版』技報堂 Finite Elements, J. の知識を利用する。	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとの	助けとする ::有限要素 こついてに 到達目標	ること。 表法,山 田貴慎 は十分に復習	し、数学的な表現に愉
主意点		・課題: ・補助: (1)を (2)A 己訳)他 これまれてお 週 1週	実施のために、事 教科書として,次 家科書として,次 所 所 い でに学習した多く くこと。 授業内容 現象のモデル化	前調査、課題達成に の書籍を挙げておく き工学第3版』技報学 Finite Elements, J. の知識を利用する。	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳オ や行列計算 週ごとの コンピュ	がけとする ::有限要素 こついてに <u>到達目標</u> ータシミ	ること。 は十分に復習	し、数学的な表現に愉
主意点		・課題: ・補助: (2)A これてお 週 1週 2週	実施のために、事 教科書として,次 認本裕ほか著『構》 First Course in でに学習した多く くこと。 授業内容 現象のモデル化 直列バネ系のマ	前調査、課題達成に の書籍を挙げておく き工学 第3版』技報登 Finite Elements, J. の知識を利用する。 タトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとの コンピュ 直列バネ	がけとする ::有限要素 こついては <u>到達目標</u> ータシミ: 系の解法	ること。 表法,山 田貴慎 は十分に復習 ユレーション を学習する	し、数学的な表現に愉
主意点	画	・課題: ・補助: (1)を (2) A これてお 週 1週 2週 3週	実施のために、事 教科書として,次 教科書として,次 家本裕ほか著『構》 First Course in でに学習した多く くこと。 授業内容 現象のモデル化 直列バネ系のマーログで、「 直列バネ系のマーファート	i前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) も工学 第3版』技報号 Finite Elements, J. の知識を利用する。 な ストリクス解法 アトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとの コンピュ 直列バネ 直列バネ	がけとする ::有限要素 こついては 到達目標 ータシミ 系の解法: 系の解法:	ること。 表法,山 田貴博 は十分に復習 ユレーション を学習する を学習する	し、数学的な表現に愉
主意点		・課題: ・補助: (1)を (2) A これてお 週 1週 2週 3週 4週	実施のために、事 教科書として, 次 教科書として, 次 系 First Course in 3 でに学習した多く くこと。 授業内容 現象のモデル化 直列バネ系のマ 直列バネ系のマ 直列バネ系のマ	前調査、課題達成に の書籍を挙げておく き工学第3版』技報堂 Finite Elements, J. の知識を利用する。 な アトリクス解法 アトリクス解法 アトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとの コンピュ 直列バネ 直列バネ	がけとする ::有限要素 こついては 到達目標 ータシミ 系の解法 系の解法 系の解法	ること。 表法,山 田貴博 は十分に復習 ユレーション を学習する を学習する を学習する	し、数学的な表現に愉
注意点	画	・課題 ・補助室 (2)A つまれてお の はいまれてお 週 1週 2週 3週 4週 5週	実施のために、事 教科書として,次 教科書として,次 所 持 First Course in 引 でに学習した多く くこと。 授業内容 現象のモデル化 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学第3版』技報学 Finite Elements, J. の知識を利用する。 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとの コンピュ 直列バネ 直列バネ 直列バネ	がけとする ::有限要素 こついては 到達目標 ータシミ: 系の解法: 系の解法: 系の解法: 系の解法:	ること。 表法,山 田貴博 は十分に復習 ユレーション を学習する を学習する を学習する を学習する	し、数学的な表現に愉
注意点	画	・課題: ・補助室(1)を ・ (2)A(・ (2)A((2)A	実施のために、事 教科書として,次 教科書として,次 所 持いたい者。「構」 でに学習した多く くこと。 授業内容 現象のモデル化 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) 告工学第3版』技報学 Finite Elements, J. の知識を利用する。 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとの コンピュ 直列バネ 直列バネ 直列バネ	がけとする ::有限要素 こついては 到達目標 - 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法	ること。 表法,山 田貴博 は十分に復習 センーション を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する	し、数学的な表現に愉
主意点	画	・課題 ・補助を (1)を (2)A これてお 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	実施のために、事 教科書として、次 教科書として「構」 First Course in でに学習した多く くこと。 授業内容 現象のモデル化 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので 直列バネ系ので	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) 告工学第3版』技報学 Finite Elements, J. の知識を利用する。 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとの コンピュ 直列バネ 直列バネ 直列バネ 直列バネ	助けとする ::有限要素 こついては 到達タアの解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法	ること。 表法,山 田貴博 は十分に復習 ユレーション を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する	し、数学的な表現に愉
主意点	画	・課題 ・補(1)と ・ は(2)を ・ は(2)を は(2)を も(実施のために、事 教科書として、 教科書として、 精 にすいまでに学習した多く でに学習した多く 一切がネ系のででは 直列がネ系のででは 直列がネ系のででは 直列が、本系のででは には には には には には には には には には に	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学第3版』技報会 Finite Elements, J. の知識を利用する。 でトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとの 可列バネ 直列バネネ 直列バネネ 直列バネネ 直列バネネ 前期中間	がけとする ::有限要素 こついては 型達タシ解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 系の解法 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する	し、数学的な表現に情事例紹介
受業計	画	・課題 ・補(1)と ・記れてお ・温 ・記れてお ・記り ・記れてお ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り	実施のために、事 実施のために、事 教科書として、 大窓本裕ほか著『構』 First Course in ここと。 一でに学習した多く 一でに学さ。 一でに学る。 一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学第3版』技報号 Finite Elements, J. の知識を利用する。 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の schko(訳本 や行列計算 週ごとピュー 直列バイネ 直列バイネ 直列バイネ 直列バイネ 直列バートラ	がけとする ::有限要素 こついては 型達月タの解法 系のの解法 系のの解法 系のの解法 系のの解法 での解法 スのの解までして。	は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する を学習する をと学習する をと学習する をと学習する	し、数学的な表現に情事例紹介
主意点 受業計	画	・課題 ・補(1)2)化 ・記れてお ・週 ・記れてお ・週 ・週 ・2)週 ・3週 ・3週 ・4週 ・5週 ・6週 ・7週 ・8週 9週 10週	実施のために、事実施のために、事業を利害として、 教科書として、構造、 First Course in でに学習した多く でに学と。 一でに学と。 一でに学と。 一でに学と。 一でに学と。 一でに学と。 一でに学る。 一でにずる。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でにずる。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でに学る。 一でにずる。 一でにずる。 一でにずる。 一でにずる。 一でにずる。 一ではずる。 ・ではずる。 ・ではななな。 ・ではななななな。 ・ではななな。 ・ではなな。	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学 第3版』技報。 Finite Elements, J. の知識を利用する。 なイトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の まschko(訳本 や行列計算 週コ直列バスネ 直面列バスネ 直面列バスネ 直面列バスネ 直面列バスネ 前期面トラ	がけとする ::有限要素 こついては 到達 早 の の の の 解 法 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系 系	は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 は十分に復習 を学習習する を学習習する を学習習する を学習習する を学習習する を学習で を学習で をと を学習で をと を を と と と と と と と と と と と と と と と と	し、数学的な表現に修 事例紹介 学習する
主意点 受業計	画	・課題 ・補(1)と ・記れてお ・温 ・記れてお ・記り ・記れてお ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り ・記り	実施のために、事 実施のために、事 教科書として、 大窓本裕ほか著『構』 First Course in ここと。 一でに学習した多く 一でに学さ。 一でに学る。 一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学 第3版』技報。 Finite Elements, J. の知識を利用する。 なイトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して学習の まschko(訳本 や行列計算 週コ直面列列ババネ 直面列列リカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリ	がけとする ::有限要素 こついては 到達 早 ののの解系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系のの解まママトト スススススススススススススススススススススススススススススススススス	は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	し、数学的な表現に 事例紹介 学習する 学習する
主意点 受業計1	直 1stQ	・課題 ・補助を (2)A(・記れてお) ・ はいまお ・ はいまま ・ はいま ・ はいま ・ はいま ・ はいまま ・ はいまま ・ はいまま ・ はいま ・ はいま もい もい もい もい もい もい もい もい もい もい もい もい も	実施のために、事族科書として、構造科学になった。 教科書とかで、構造、First Course in はまれる。 でにごと。 一でにごが、でいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学 第3版』技報。 Finite Elements, J. の知識を利用する。 なイトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して で で で で で で で で で で で で で	助け有限 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は 大 に を を を を を を を を を を を を を	し、数学的な表現に修 事例紹介 学習する 学習する 、弾性係数についてき
主意点 受業計1	画	・課題 ・補助を (2)A これてお 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	実施のために、事族科学は、事務科学に、事務科学に、「構造」にあるくいでは、「大学」には、「いい、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「いい、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学 第3版』技報。 Finite Elements, J. の知識を利用する。 なイトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	して で で で で で で で で で で で で で	助 :: 到 一 系 系 系 系 系 系 ス ス ス ス ス ス ス の の の の の の の の の の の の の	は十分に をををををあります。 は十分に とは十分に ををできる。 をできずるでは、 をできずででは、 をできずででは、 をできずででは、 をできずででは、 をできずででは、 をできずでは、 をできができができができができができができができができができができができができがで	し、数学的な表現に修 事例紹介 学習する 学習する 、弾性係数についてきまる。 、弾性係数についてきまする。
主意点 受業計1	直 1stQ	・課題 ・補助を (2)A(・記れてお) ・ はいまお ・ はいまま ・ はいま ・ はいま ・ はいま ・ はいまま ・ はいまま ・ はいまま ・ はいま ・ はいま もい もい もい もい もい もい もい もい もい もい もい もい も	実施のために、事族科書として、構造科学になった。 教科書とかで、構造、First Course in はまれる。 でにごと。 一でにごが、でいていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学 第3版』技報。 Finite Elements, J. の知識を利用する。 なイトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	U schko()	助 ::	は十分に をををををあります。 は十分に とは十分に ををできる。 をできずるでは、 をできずででは、 をできずででは、 をできずででは、 をできずででは、 をできずででは、 をできずでは、 をできができができができができができができができができができができができができがで	し、数学的な表現に情事例紹介 学習する 学習する 、学習する 、弾性係数について はする。 、弾性係数について はする。
主意点 受業計	直 1stQ	・課題 ・補助を (2)A これてお 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	実施のために、事族科学は、事務科学に、事務科学に、「構造」にあるくいでは、「大学」には、「いい、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「大学」には、「いい、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、「、	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく) き工学 第3版』技報。 Finite Elements, J. の知識を利用する。 なイトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法 マトリクス解法	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	U schko(計	助 ::	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	し、数学的な表現に情事例紹介 学習する 学習する 、学習する 、弾性係数について はする。 、弾性係数について はする。
注意点 受業計	直 1stQ	・課題 ・補(1)2)化 ・記れてお 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	実施科学に、東海科学に、東海科学に、東海科学に、東海科学に、大橋に、京にことでくと、「大塚ののでは、大塚のでは、かりでは、大塚のでは、かりでは、大塚のでは、大塚のでは、大塚のでは、大塚のでは、大塚のでは、大塚のでは、大塚のでは、大塚のでは、大塚のでは、からないがで	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく)	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	U schko(計	助 い 有 つ 達 タのののののの のののののののののののののいなルなルなと し は を は し の の のののののののののののののののののののののののののの	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	し、数学的な表現に情事例紹介 学習する 学習する 、学習する 、弾性係数について はする。 、弾性係数について はする。
注意点 受業計	直 1stQ 2ndQ	・課題 ・補(1)(2)(水 に)(2)(x に)(2)(x c)(x c)(x c)(x c)(x c)(x c)(x c)(x c	実施科学に、東海科学に、東海科学に、東海科学に、東海科学に、東海科学に、大橋に、「は、一大学」にで、「は、一大学」にで、「は、一大学」で、「は、一大学」で、「ない」で、「はい」で、「ないい」で、「ない、「ない、」で、「ない、」で、「ない、」で、「ない、「ない、」で、「ない、」で、「ない、「ない、」で、「ない、」で、「ない、「ない、」で、「ない、」で、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく)	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	U schko(計	助 い 有 つ 達 タのののののの のののののののののののののいなルなルなと し は を は し の の のののののののののののののののののののののののののの	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	し、数学的な表現に情事例紹介 学習する 学習する 、学習する 、弾性係数について はする。 、弾性係数について はする。
主意点 受業計	画 1stQ 2ndQ	・課題 ・補(1)(2)(水 に)(2)(x に)(2)(x c)(x c)(x c)(x c)(x c)(x c)(x c)(x c	実施科学に、東海科学に、東海科学に、東海科学に、東海科学に、東海科学に、大橋に、「は、一大学」にで、「は、一大学」にで、「は、一大学」で、「は、一大学」で、「ない」で、「はい」で、「ないい」で、「ない、「ない、」で、「ない、」で、「ない、」で、「ない、「ない、」で、「ない、」で、「ない、「ない、」で、「ない、」で、「ない、「ない、」で、「ない、」で、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておく)	向けた準備などをI ので,適宜参考に 出版、2011年 Fish and T. Belyt	U schkの で	助 い 有 つ 達 タのののののの のののののののののののののいなルなルなと し は を は し の の のののののののののののののののののののののののののの	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	し、数学的な表現に情事例紹介 学習する 学習する 、学習する 、弾性係数について はする。 、弾性係数について はする。
主意点 受業計 前期	画 1stQ 2ndQ	・課題 ・補(1)(2)(化 に)(2)(化 に)(2)(化 に)(2)(化 に)(2)(化 に)(2)(化 に)(2)(化 に)(2)(化 に)(2)(化 に)(2)(化 に)(1)(化 د)(1)((1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1	実施科学院 東海科音にないする 東海科音にないする にて、 関連のでというでく でく でく でく でく でく でく でく でく でく	前調査、課題達成に、 (の書籍を挙げておく) 声言 第 3 版』技家 5	向けた準備などを ので、適宜参考に 党出版、2011年 Fish and T. Belyt 特に、微分方程式 ^A	U schkの で	助 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	し、数学的な表現に情事例紹介 事例紹介 学習する 学習する 、学習する 、 弾性係数について する。 、 、 弾性係数について する。 、 、 、 、 、 、
主意点 受業計 前期 総合評価	画 1stQ 2ndQ	・課題 ・補(12)A(1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (3) (3) (4 ・記) (4 ・こ)	実施科学 東海科学 所名と 大学 大学 でく 一型 でく でく でく でく でく でく でく でく でく でく	前調査、課題達成に (の書籍を挙げておくだ 声言 等 3 版』技 所	向けた準備などを ので、適宜参考に 登出版、2011年 Fish and T. Belyt 特に、微分方程式が 態度	Uschko 付 週 コ 直 直 直 直 前 平 平 応 び 応 び 応 び 前 ボーマー で で で で で で で で で で で で で で で で で で	助 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は は し に に に に に に に に に に に に に	し、数学的な表現に修 事例紹介 学習する 学習する 、 弾性係数について する。 、 弾性係数について する。 、 弾性係数について する。 、 弾性係数について する。
	画 1stQ 2ndQ 合 :カ 1:	・課題 ・補(12)A(1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (2) (1 ・記) (3) (2) (1 ・記) (4) (4) (1 ・記) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	実施科学 東海科学 所名というでく 現面をというでく 現面をしています。 でく 現面をしています。 でく 現面をしています。 でく 現面をしています。 でく 現面をしています。 でく 現面をしています。 でく でく 現面をでする。 でく でく でく でく でく でく でく でく でく でく	前調査、課題達成ににの調査を挙げておるにの書籍を挙げておる。 き工学第3版』技術。 下inite Elements, J. の知識を利用する。 なアトリクス解法 アトリクス解法 アトリクス解決 アトリース解決 アース解決 ア	向けた準備などを1ので、適宜参考に対して、適宜参考に対して、適宜を考しませた。2011年 Fish and T. Belyt 特に、微分方程式が特に、微分方程式が はまました はままま はままま はままま しょうしゅう はままま はままま はまままま はまままま はまままままままままままままま	Uschko 付	助 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は は し に に に に に に に に に に に に に	・学習する ・学習する ・学習する ・学習する ・、弾性係数について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・